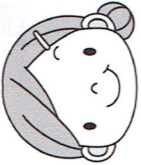
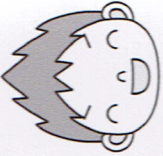


参加者の声



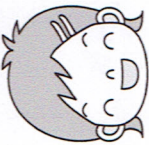
普段から子どものはなしに耳をかたむけて、自尊心を育てたいという努力がしたいと思いました。

CAP の話を自分が子どもの頃にききたかったです。



知らない人にあっただきにどうしたらいいのか良くわかった。

自分を守るだけじゃなくて、友だちも守れるなんて知りませんでした。



いままで、誰にも相談しなかったけど、相談したらいいってことがわかった。

ワークショップ実施の詳細について

おとなワークショップ

- ◆保護者 2時間
何人でも
30,000円
- ◆教職員 2時間
何人でも
30,000円

費用については、ご相談に応じます。

子どもワークショップ

- ◆就学前 (20分+トークタイム) ×3日
15人まで
30,000円+交通費
- ◆小学生 (60分+トークタイム) ×1日
クラス単位
15,000円+交通費
- ◆中学生 (100分+トークタイム) ×2日
クラス単位

中学生・児童養護施設・障がいのある子どもたちのプログラムについてはお問合せください。

CAP なのはな

TEL : 070-6513-7087

携帯メール : cap-nanohana-m@y-mobil.ne.jp

PCメール : capnanohana2001@yahoo.co.jp

このリーフレットは、ノリスシステム千葉NPO助成基金の助成を受けて作成いたしました。

CAP

なのはな



安心

自信

自由

人は誰でもみんな
「安心・自信・自由」
の権利 を持っています。

暴力とは、この権利を奪うことです。いじめ、誘拐、虐待性暴力といった様々な暴力から、自分を守るために何ができるかを伝える人権教育プログラムです。

- CAPの歴史
- 1978年 アメリカ オハイオ州コロンバスのレイブ救援センターで開発
- 1985年 森田ゆりによって日本に紹介
- 2001年 CAPなのはな 東葛地域を中心に活動を始める 一般社団法人J-CAPTA所属 (ジェイキャプタ)
- CAPプログラムは 現在、世界16か国で実施され、日本では全国約160のグループが活動しています。

おとなワークショップ

- ◆保護者・地域の方向け
- ◆教職員向け

様々なおとなを対象に、おとなワークショップ単独でも実施いたします。

【内容】

- CAPの暴力防止の考え方
- 具体的な子どもワークショップの紹介
- 子どもの権利を守り支えるおとなとしてできることを一緒に考えます。

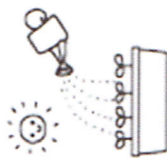
- 子どもと共通の理解を持つことで、日常生活の中で、暴力について子どもと考える話すことができます。
- CAPワークショップを振り返り、日々子どもと話すことで、子どもの心に深く残りいざという時に生かすことができます。



子どもワークショップ

- <年齢・発達段階に応じたプログラム>
- ◆就学前プログラム
 - ◆小学生プログラム
 - ◆中学生暴力防止プログラム
 - ◆児童養護施設プログラム
 - ◆障がいのある子のためのプログラム

おとなワークショップ実施後に行います。
 子どもワークショップ単独では実施できません。



ワークショップは、

参加型の学習形式をとります。
 ロールプレイ（役割劇）や話し合いを通して学んでいきます。

